



八 英米における博覧会への参加

音楽取調掛では明治十七年から十八年にかけて三回、海外の博覧会に取調へ事業の成果を公開している。

(一) イギリス、ロンドン万国衛生博覧会への参加

明治十七年(一七八四)四月八日、音楽取調掛の駒井道義から、取調掛長、および会計局長にあてて、次のような緊急書類が提出された。

「今回英國倫敦博覧会へ出陳相成ル可樂器別紙概略見積ノ價額ヲ以購入然可哉……」という伺い文に続いて、「雅樂々器中等品概略見積書」、「俗樂々器中等品概略見積書」が添えられた書類であった。

結局、同年五月の「英倫敦萬國衛生博覧会」へ出品された樂器および書籍類は次のようなものであった。

雅樂々器中等品概略見積書

鳳笙一管 袋共

〔費用〕 貳拾八圓

箏一管 管袋共

五圓

龍笛、高麗笛、双管 筒袋共

拾八圓

神樂笛一管 筒共

三圓五拾錢

和琴 一面 柱絃共

拾八圓

箏 一面 柱絃共

貳拾八圓

琵琶 一面 撥絃共

貳拾圓

俗樂々器中等品概略見積書

琴 一面 柱絃共

貳拾五圓

三味線 一個 七圓
水牛撥 一個 五拾錢

琴爪 一組 三拾錢

胡弓並弓白須共一組 七圓五拾錢

同 駒一個 貳錢五厘

尺八 一個 貳圓

琴其外囊 三個 三圓

琵琶其外囊五個 貳圓

取調掛撮影 一面 貳圓拾錢

同 額縁 一個 五圓拾五錢

雅俗樂器調音法解説圖 八幅 壹圓貳拾錢

傳習生書寫類 五冊 貳圓拾錢

小學唱歌集 初篇、二篇 二冊

唱歌掛圖 初篇、続篇、第二篇 三綴

樂典 一冊

音樂問答 一冊

音樂指南 一冊

文部省音樂取調掛規則 一冊

音樂取調成績申報書〔英文〕

〔手書き〕
『緊要書類』明治十六年上、『本省會計局往復書類』明治十六年七月～十七年十二月下

これらの樂器は博覽會陳列の後ベルギーのブリュッセル国立音樂院附屬博物館館長ヴィクトル・シャルル・マイヨン(Victor-Charles Mahillon,

1841-1924)の懇請により洋樂器と交換された。その後、翌年二月十一日、マイヨンから伊澤にあてて次のような手紙が届いた。

拝啓兼而手島君ヨリモ御通信ニ可相成通、貴下ヨリ野生主管ノ博物館へ御深切ニ御贈與被下候樂器ノ儀渾而無事ニ到着仕爾來本館縦覽人大衆ヲ喚起致候既ニ疾ヨリ一書ヲ呈スヘキノ所本邦政府ヨリ貴下へ公然我政府答謝ノ意ヲ表スヘキ様致度依而段々政府へ其手續ヲ致居旁以延引ニ相成遺憾ニ有候右御答謝之儀モ今以駈ト確定不仕候へ共早晚必ス其手順ニ可相運儀ニ御座候固ヨリ野生儀ハ本邦政府ニ於テ右ニ關スル負債ヲ消却致候迄ハ片時モ安堵不仕候尤モ既ニ政府ニ於テモ此美麗ナル御贈與ニ就而者貴下并手島君へ巨大ナル物ヲ御返禮ニ可及事ニ内定致候儀ト相心得申候

當時野生儀ハ右御贈與ニ預リ候結構ナル諸樂器ノ総目錄ヲ編成セシ事ヲ企テ、甚タ多忙ニ御座候御深切ニ諸樂器へ添御贈與被下候掛圖ノ儀ハ渾テノ樂器ニ付正シキ略解ヲ得仕合之儀ニ御座候然レトモ不幸ニシテ和琴即彼六絃琴調律ノ事ニ就而者何等ノ説明モ無御座候得者右調律ノ方法ニ付其内御指教ヲ得候ハ、大幸奉存候將又俗筆調律ノ儀モ其方法數種有之趣ニ候得共右ニ関スル説明ノ儀モ無御座候相心得候即チ貴下ニ於テハ右俗筆ハ左ノ十二様ニ調律相成候事ニ承知仕候即チ

平調子 曙第一 曙第二

雲井第一 雲井第二 半雲井

片雲井 櫻 岩戸

半岩戸 片岩戸 雲井変

右様数種ニ致候所以ハ如何ナル儀ニ御座候哉結構ナル貴下ノ御著述(英文申報書ヲ云フ)中ニモ拝見仕候通歐州ニ於テ所謂長短旋法ハ既ニ呂旋律旋ト御譯ニ相成候得者此等トモ相異リ候様想察仕候

箏(雅樂用)調律ニ就而者七種ノ方法有之孰レモ雅樂用(訳者曰ク俗樂用ノ誤)箏調律ノ方法ヲ示シ候十二種ノ名目ト其名ヲ異ニ致候儀ト承知仕候

琵琶調律六種ノ方法モ雅樂用箏調律法最初ノ六種トマタ相同シキモノト相心得候且胡弓調律ノ二方法モマタ三味線調律ノ終ノ二方法ト同様ノ儀ト承知仕候誠以テ恐縮之至御座候得共前条御指教被成下候ハ、此上モナキ大幸奉存候

日本樂譜ノ方法ヲ説明致候英書又ハ獨逸書ナリトモ御貴下ニ於テ幸ヒ御承知被存有右購入被下野生迄御送付被下候儀相叶候ハ、實以難有仕合奉存候尤モ其費用ハ被仰聞次第速ニ返上可仕候野生友人ニテ清國稅関ニ奉職罷在候「バンオールスト」氏ト申者ノ著シ候書ハ一覽仕候得共右者書名ヲ支那音樂ト題シ候モノニ御座候間若思召モ御座候ハ、横濱ケレー及ワルシ商社ニ而販賣致居申候日本音樂ニ就テモ定メ而同種ノ書籍既ニ發行致可申候貴下御編成之結構ナル申報書ニ加フルニ右様ノ書ヲ得候ハ、貴國音樂ノ大体ヲ解スルヲ得可申候上文相願候儀ハ御深切ニ御取計被下候様前以テ茲ニ一言御礼申上置候随テ野生儀當方ニ於テ何ナリトモ御用弁ニ相成候儀御座候ハ、無御遠慮可被仰聞候様奉願候尚野生御依頼ニ及ヒ候儀ニ就而者貴下ノ最モ御親友ニ於カセラレ候様反覆奉懇願候

過般手島君モ「ブラッセル」へ御尋被下御面會仕大慶奉存候明年ハ龍動府ニ第一等ノ萬國音樂博覽會開設ニ相成候得者野生儀モ此機

ヲ以テ歐州ニ於テ貴下へ拝顔仕候様相成候ハ、大幸此事奉存候此儀ハ最モ野生ニトリ快悦之儀ト熱望仕候

右御禮ノ儀ハ更ニ紙上ニ難尽御座候得共不取敢如此尚速ニ貴報奉待上候頓首敬白

千八百八十五年二月十一日

ブラッセルニ於テ
ウキクトル・マヒロン

日本東京

音樂取調所長伊澤修二殿

貴下

〔伊澤修二關係書類〕F十六

〔手書き〕

(二) アメリカ、ニューオーリンズ綿百年期博覽會への参加

明治十七年(一八八四)十二月一日から翌十八年五月三十一日まで開催されたニューオーリンズ綿百年期博覽會は、またの名称を万国工業博覽會といった。この博覽會はアメリカ南部所産の綿類の海外へ輸出開始から百年を記念した催しで、音樂取調掛では「斬新な進歩を示す教育状況を」という呼びかけであった教育部門に、先のロンドン万国衛生博覽會の出品とほぼ同様な物品を展示する計画を立てた。だが本省ではロンドンの博覽會には無代価の出品物が多く、経費がかさんだので、今回は全経費二千円のわくで参加することを打ち出してきた。ロンドンの博覽會経費と比較すると次のようである。

英京博覽會費

一、金千五百圓 物品調整本省支出

一、金千五百圓 物品調整本省支出

物品調整及荷造費トシテ農商務省ヨリ支出